**治安対策課**

**事務事業執行概要**

**企画グループ**

**１　室の庶務事務及び調整事務**

課の予算編成、経理、給与、物品、福利厚生及び一般庶務事項を掌り、当該事務の円滑な執行に努めた。

室内各課の業務の総合調整を図り、円滑な事務執行を行った。

（１）主な備品の購入状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 品種 | 品名 | 規格形式 | 数量 | 金額(円) | 購入年月日 | 備考 |
| 船舶類 | ヨット | ９ｍ  カッターボート | １艇 | 8,692,920 | 平成31年  ２月26日 |  |
| 船舶類 | ヨット | WINNER  オプティミスト  ディンギー | ５艇 | 2,611,980 | 平成31年  ３月19日 |  |
| 船舶類 | ヨット | ディンギーヨット  （Laser） | ２艇 | 1,799,196 | 平成31年  ３月19日 |  |

**２　大阪府安全なまちづくり推進会議総会の開催**

犯罪による被害を防止するとともに、犯罪を発生させない環境づくりを進めるための施策を総合的かつ効果的に推進するため、大阪府安全なまちづくり推進会議総会を開催した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| と　き | ところ | 主な議題　等 |
| 平成30年５月14日 | プリムローズ大阪 | ・平成29年度活動報告  ・平成30年度活動方針  ・意見交換、安まち大使委嘱 |

**３　安全なまちづくり広報・啓発活動事業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 予算額 | 517千円 | 517千円 | 491千円 |
| 決算額 | 337千円 | 501千円 | 437千円 |

1. 大阪府安全なまちづくりキャンペーン

府民の安全に対する意識を高めるため、特殊詐欺の被害防止や子どもの安全確保に向けて、安全なまちづくり推進月間である10月に、府内の自治体、警察、事業者等と連携して、「大阪府安全なまちづくりキャンペーン」を開催した。

①黒山地域安全運動大会

　　　日時：平成30年10月５日（金）　19時から21時

　　　場所：初芝立命館高等学校講堂（堺市東区）

　　　主催：黒山防犯協議会、黒山事業所防犯協会及び黒山警察署の共催

②全国地域安全運動「大阪府民大会」

　　　日時：平成30年10月６日（土）　14時から16時

　　　場所：阿倍野区民センタ**ー**（大阪市阿倍野区）

　　　主催：（公社）大阪府防犯協会連合会及び大阪府警察の共催

③ミナミ地域安全大会

　　　日時：平成30年10月11日（木）　14時から15時

　　　場所：ウインズ道頓堀（大阪市中央区）

　　　主催：南防犯協会及び南警察署の共催

　　　参加：西川かの子安まち大使

④特殊詐欺被害防止啓発キャンペーン

　日時：平成30年10月12日（金）　11時から12時

　場所：ホワイティ梅田、府警コミュニティプラザ（大阪市北区）

　　　参加：日本証券業協会、財務省近畿財務局、大阪府消費生活センター、

証券会社及び大阪府警察

　　⑤自動車盗難撲滅キャンペーン

　　　日時：平成30年10月16日（火）　８時から９時

　　　場所：なんばＯＣＡＴ（大阪市中央区）

　　　参加：大阪府通関業会、大阪府税関及び大阪府警察

　　⑥特殊詐欺被害防止啓発キャンペーン

　　　日時：平成30年10月16日（火）　10時30分から11時30分

　　　場所：天神橋筋商店街（大阪市北区）

　　　参加：近畿財務局、大阪銀行協会、天満防犯協会、大阪府警察

　　⑦防犯訓練・特殊詐欺声かけ訓練

　　　日時：平成30年10月18日（木）　10時から11時

　　　場所：ローソン堺鶴田町店（堺市西区）

　　　参加：（株）ローソン、大阪府警察

　　⑧特殊詐欺被害防止教室「リーダー養成研修」

　　　日時：平成30年10月24日（水）　９時から11時

　　　場所：大阪府立信太山青少年野外活動センター

　　　参加：大阪府社会福祉協議会、大阪府警察

　　⑨子ども被害防止教室「みなはつフェス2018」

　　　日時：平成30年10月28日（日）　10時から12時

場所：南松尾はつが野学園（大阪府和泉市）

（２）その他の広報啓発

○「防犯防災総合展in ＫＡＮＳＡＩ2018」（平成30月６月７日、８日）

インテックス大阪において開催された防犯イベントに出展し、子どもや女性に対する犯罪被害及び特殊詐欺被害防止に向けた広報啓発を実施した。

○ ホームページによる情報提供

府ホームページにおいて「安全なまちづくり推進月間」に各地で開催した「安全なまちづくりキャンペーン」の取組を紹介した。

**４　大阪府暴力団排除条例の運用等**

（１） 府民の安全安心で平穏な生活を確保し、健全な社会経済活動を実現するため、府民や事業者の役割、暴力団の排除に関する基本的施策、公共工事等における措置、事業者による暴力団員（関係者を含む。）に対する利益供与の禁止、青少年の健全な育成を図るための措置、不動産の譲渡し等をしようとする者の講ずべき措置等について定めた大阪府暴力団排除条例（平成23年４月１日施行）の運用を行っている。また、「大阪府暴力団排除に関する協定書」に基づき、平成30年度においては、約300件の暴力団排除照会を実施したが、暴力団員等の介入は認められなかった。

（２） 府警、関係部局と連携し、府の出先機関、自治体等を対象として府内８か所で行われた地域連絡会において、条例制定の趣旨や暴力団排除の必要性等について講演を行った。

また、民事介入暴力担当の弁護士等の講演を取り入れた不当要求排除対策研修会を府内８か所で実施し、暴力団排除に向けた啓発活動を実施した。

**地域防犯推進グループ**

**１　特殊詐欺被害防止緊急対策事業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 予算額 | ― | 11,928千円 | 10,000千円 |
| 決算額 | ― | 4,099千円 | 1,481千円 |

府内市町村において、特殊詐欺被害防止対策が主体的に取り組まれるよう、特に被害に遭うおそれの高い高齢者に対して、市町村が実施する特殊詐欺対策機器の普及への支援を行うとともに、広報啓発を行って、府民の防犯意識の高揚と自主防犯行動を促し、被害の防止を図った。

特殊詐欺被害の認知件数が多い自治体を中心に、府の補助事業の活用を働き掛けるため25市町村へ事業説明を行った。

（１）特殊詐欺対策機器普及補助事業

○補助実施市町村　　　　　　　　　５市町

○補助による台数実績　　　　　４１５台

（２）広報啓発

　　①キャンペーンの実施

・４月28日（土）、12月29日（土）ＪＲ新大阪駅

ＪＲ新大阪駅等の協力を得るとともに、大阪府警察と連携して特殊詐欺対策機器の展示、啓発チラシ等を配布し、帰阪した息子・娘世代に対し、両親等の高齢親族への注意喚起を促すキャンペーンを実施した。

年末のキャンペーンでは、ものまねタレントのコロッケ氏も参加して被害防止を呼び掛けた。

・８月13日(月)　浄土真宗本願寺派本願寺津村別院（北御堂）

　　浄土真宗本願寺派本願寺津村別院（北御堂）等の協力を得るとともに、大阪府警察と連携して、参拝者を対象としたキャンペーンを実施した。

②防犯教室の実施

府警や市町村等と連携して、地域安全センターにおける特殊詐欺被害防止の防犯教室を実施した。

③防犯イベントへの出展

６月７日（木）、６月８日（金）　インテックス大阪

インテックス大阪において開催された防犯イベントに出展し、特殊詐欺被害防止に向けた広報啓発を実施した。

**２　「こども110番」運動の推進**

（１）こども110番月間

市町村をはじめ企業等の協力を得て、府民が一体となって「こども110番」運動を推進するため、８月を「こども110番月間」として、府内各所において運動の普及・啓発活動を行うことにより、夏休み期間中の子どもの安全について注意を呼びかけた。

①各市町村の協力による啓発活動

・広報誌への掲載

・ポスター掲示

・地域のイベント（市民祭・防犯教室等）でのポスター掲示・啓発チラシ配布・クイズラリー等の実施

②企業・関係団体の協力による啓発活動

・Ｊリーグ公式戦での電光掲示板等による「こども110番月間」の周知

・セレッソ大阪公式戦にてキャンペーンの実施

・キッズプラザ大阪にてオリオンラムネ配布によるキャンペーンの実施

・京セラドームにてパインあめ配布によるキャンペーンの実施

・ＮＨＫアトリウムホールにてぷっちょ等配布のキャンペーンの実施

・放送芸術学院専門学校に庁内放送音声を作成依頼

・ＮＨＫ大阪放送局のラジオ放送での「こども110番月間」の周知

・（一財）大阪府青少年活動財団によるサマーキャンプ

・映画タイアップ「パパはわるものチャンピオン」

（２）その他の啓発活動

府警と連携し、地域防犯イベント等に参加して運動の普及･啓発活動を行うことにより、子どもの安全について注意を呼びかけた。

・８月18日（土）田尻町立公民館

「縁日あそび」において、のぼり・ポスターの掲示・啓発チラシの　　配布、クイズラリーの実施

（参考：「こども110番」）

・こども110番の家

子どもたちがトラブルに巻き込まれそうになったときに助けを求めることができるように、地域の協力家庭や事業者が「こども110番の家」の旗などを掲げ、子どもたちを犯罪から守る運動。

・動くこども110番

「こども110番」のステッカーを貼った営業用車両等が、走行中にトラブルに巻き込まれそうになっている子どもたちを発見した際に、一時保護と関係機関への連絡等を行うことにより、子どもたちを犯罪から守る運動。

**３　ボランティア団体の表彰**

安全なまちづくりを推進するため、地域で安全なまちづくりに熱心に取り組んでいる防犯ボランティア団体（９団体）を表彰した。

　（表彰式）

・日時　平成30年10月23日（火）

・場所　特別会議室（大）

　（受賞団体）

・「大阪ベルェベルビューティー＆ブライダル専門学校」（大阪市北区）

・「浪速連合振興町会」（大阪市浪速区）

・「深江まちづくり活動協議会」（大阪市東成区）

・「ときわっ子安全パトロール隊」（大阪市阿倍野区）

・「チームコミュニティ・アイ淀川」（大阪市淀川区）

・「登美丘防犯ヤングサポート隊」（堺市東区）

・「泉大津市防犯委員会旭支部」（泉大津市）

・「布施防犯協議会」（東大阪市）

・「倉治老人クラブ　さんゆう会」（交野市）

**４ ミナミ活性化事業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 予算額 | 100千円 | 100千円 | 100千円 |
| 決算額 | 38千円 | 39千円 | 54千円 |

大阪ミナミの活性化を図るため、府、府警本部、大阪市、経済団体等が協働して環境浄化などに取り組む「ミナミ活性化協議会」に参画し、共同アピール、啓発イベント等を実施した。

**５　大阪府子どもを性犯罪から守る条例の運用**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 予算額 | 15,494千円 | 16,127千円 | 16,330千円 |
| 決算額 | 14,301千円 | 14,721千円 | 15,233千円 |

（１） 子どもが性犯罪の被害に遭わない、その加害者を生み出さない社会、すなわち、子どもが健やかに成長し、安全に安心して暮らせる社会の実現に資することを目的として、大阪府子どもを性犯罪から守る条例（平成24年10月１日施行）に規定する社会復帰支援等に取り組んだ。

（２） 条例の施行から５年が経過したのを契機に、これまでの運用状況とともに、支援の効果の考察や今後の課題について取りまとめて公表した。（平成31年１月公表）

**６　犯罪被害者等支援事業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 予算額 | 2,614千円 | 2,195千円 | 2,495千円 |
| 決算額 | 1,923千円 | 1,784千円 | 1,971千円 |

（１）犯罪被害者等支援対策事業

①府営住宅等を活用した日常生活復帰支援事業

自宅における犯罪により居住困難となった被害者等へ短期的に府営住宅を提供する一時使用制度や民間賃貸住宅仲介制度による支援事業を実施した。

②民間団体との協働によるサポート体制強化事業

犯罪被害者等からの相談や裁判所等への付き添いなどの直接支援活動等に取り組む民間団体へ補助金を交付し、被害者等からの多様なニーズに応えることができるよう支援体制の強化を図った。

（２）犯罪被害者等支援社会づくり推進事業

①犯罪被害者団体による社会づくり活動支援事業

啓発・支援活動に応募した被害者団体に対し補助を行い、支援社会づくりに寄与する活動の促進を図った。

②「犯罪被害者週間」（11月25日～12月１日）重点啓発事業

・府警、民間支援団体、大阪市との共催で、街頭キャンペーンを実施した。　＜イオンモール北花田　センターコート（11月17日）＞

・府内を中心に活動する被害者団体や支援団体などの協力によるパネル展を開催した。

＜大阪市役所　正面玄関ホール（11月20日～11月30日）＞

＜堺市役所高層館１階ロビー （11月20日～11月29日）＞

＜ヤンマースタジアム長居　 （11月24日）＞

③被害者等による学校等における啓発事業

学校等において、犯罪被害者遺族らが自らの体験や心情等を語ることなどを通じ、犯罪被害に遭うということを、他人事ではなく、自らの問題、社会全体の問題としてとらえ、命の大切さ、かけがえのなさを考える機会を提供した。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日　程 | 場　所 | 対　象 | 参加者数 |
| ６月27日 | 私立大阪青陵高等学校 | ３年生 | 約250人 |
| ９月20日 | 府立藤井寺高等学校 | １年生 | 約280人 |
| ９月27日 | 私立上宮高等学校 | ３年生 | 約670人 |
| 10月11日 | 府立貝塚南高等学校 | １年生 | 約300人 |
| 10月18日 | 府立泉尾高等学校 | ３学年 | 約100人 |
| 11月１日 | 府立箕面高等学校 | １・２年生 | 約830人 |
| 11月５日 | 府立箕面東高等学校 | 全学年 | 約600人 |
| 11月８日 | 府立りんくう翔南高等学校 | ３年生 | 約240人 |
| 11月13日 | マッセおおさか | 市町村担当課長 | 約50人 |
| 11月22日 | 府立茨田高等学校 | ３年生 | 約160人 |

（３）大阪府犯罪被害者等支援条例の制定

平成30年５月定例府議会における請願の全会一致での採択を踏まえ、７月から９月にかけて学識経験者等のご意見も聴きながら条例案を作成し、平成31年２月定例府議会での審議を経て制定した。（３月20日公布・４月１日施行）

**７　公民連携性犯罪・性暴力被害者支援事業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 予算額 | ― | 14,162千円 | 14,146千円 |
| 決算額 | ― | 13,363千円 | 13,492千円 |

性犯罪・性暴力被害は潜在化・継続化しやすく被害直後から総合的支援を行えるワンストップ支援センターの役割が重要なため、府内で先駆的な取組みを行っている民間のワンストップ支援センターのサポート等を行うことで被害者支援の安定化を図り、被害の深刻化の防止につなげることを目的とした事業を実施した。

（１） 大阪ＳＡＣＨＩＣＯによる24時間365日の相談体制のサポート

大阪ＳＡＣＨＩＣＯ（「性暴力救援センター・大阪」の通称、府内唯一の病院拠点型ワンストップ支援センター）が実施する相談及び同行等の支援事業にかかる補助を行った。

（２） 協力医療機関と大阪ＳＡＣＨＩＣＯとの連携（「性暴力被害者支援ネットワーク」の連携強化）

連携・協力会議を４回開催し、10協力医療機関と大阪ＳＡＣＨＩＣＯの間で支援スキルの共有を図るなど、大阪ＳＡＣＨＩＣＯを核とした性暴力被害者支援ネットワークの連携・強化を図った。

**８　【新規】地域再犯防止推進モデル事業（法務省委託事業）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| 予算額 | ― | ― | 1,500千円 |
| 決算額 | ― | ― | 450千円 |

性犯罪は再犯率が高く、再犯防止のためには、より早い段階で、性犯罪に及ぶ問題性の改善を図ることが重要なため、大阪地方検察庁、大阪保護観察所等の関係機関・団体と連携し、起訴猶予、罰金・科料、刑の全部執行猶予等の処分を受け、国が実施する指導や支援を受ける機会が得られない性犯罪者に対して、心理カウンセリング等による再犯防止に向けた事業を開始した。